

2008年11月28日

殿

全日本金属情報機器労働組合
中央執行委員長 生熊 茂実

日亜闘争勝利に向けた2つ(徳島県労働委員会、日亜化学)の 団体・個人署名と闘争支援カンパのとりくみについて

日亜化学は、「直接雇用・正社員化」のJMIUとの合意を踏みにじり、厚生労働省・徳島労働局からの二度にわたる「偽装請負」認定も無視して、9月末をもって組合員を日亜化学から放り出しました。

しかし、「日亜化学は約束を守り、組合員を直接雇用・正社員化せよ」とのたたかいと世論は大きく前進し、日亜化学を包囲しつつあります。

全労連、徳島労連、JMIUが開催した11・9現地集会は、昨年倍となる600人の参加で成功しました。集会当日には、100万円をこえるカンパ・陣中見舞いが寄せられました。JMIU日亜分会の6人の青年たちは、日亜化学から二度にわたって解雇されながらも、「全国の仲間とともにたたかいぬき、日亜化学に謝罪させ、直接雇用・正社員化を実現したい」と、決意を新たにしています。

労働組合嫌悪、組合員排除の不当労働行為で争われている徳島県労働委員会の審問は、2009年1月28日で結審となる予定ですすんでおり、これからヤマ場を迎えます。JMIUは、労働委員会において救済命令を勝ちとるとともに、日亜化学をより社会的に包囲し解決を決断させるために、徳島労連とともに、広範な労働組合・民主諸団体・個人によびかけ、当面①徳島県労働委員会と日亜化学への団体・個人要請署名、②闘争を支えるために「支える会」が呼びかけたカンパ、の二つのとりくみを強化します。

日亜化学闘争をJMIUの産別のたたかいとしてとりくみ、勝利へとつなげるために、全国からの熱い支援をお願いします。

記

1、徳島県労働委員会と日亜化学への団体・個人要請署名のとりくみについて

- 1) **当面の期限**＝年内から年明けにかけ集中的なとりくみをおこないます。当面年明け1月28日予定の徳島県労働委員会結審に向け、**2009年1月20日(火)を第一次集約**とし、集中的なとりくみをおこないます。
- 2) **署名送付先**＝労働委員会、日亜化学宛ともにいったん徳島労連で集約します。
徳島市川内町鶴島115 黄金ビル1F 徳島労連

2、闘争支援カンパのとりくみについて

- 1) たたかいは財政的に支えるものとして、「支える会」が呼びかけたカンパのとりくみについて、すでに陣中見舞いとして集会に持ち寄ったところも含め、あらためて強化します。(よびかけ、振込先＝郵便振替口座01620-8-50746、徳島県労働組合総連合、別紙参照)

以上

日亜化学闘争を支える会結成 及びカンパのお願い

徳島県労働組合総連合

議長 見田 治

全日本金属情報機器労働組合

中央執行委員長 生熊 茂実

2006年に偽装請負是正と安定した雇用、劣悪な労働条件の改善を求めて立ち上がった徳島・日亜化学の青年のたたかいは、全国の多くの仲間の共感を得るとともに、たたかう勇気と連帯、労働組合結成の重要性を発信し続けています。日亜化学は、今年8月に徳島労働局の二度目の偽装請負認定と指導を受けたものの、「認定は当事者（会社）を何ら法的に拘束するものでない」としてまったく反省せず、こともあろうに申告した6名の組合員を職場から放り出しました。一方徳島県は、こうした違法企業をただすのではなく、県自らがよびかけた2006年10月の労使協議での「直接雇用する」という合意そのものを、後になって否定するという偽証を行い、日亜化学の違法行為を擁護しています。

勇気をもってたたかいに立ち上がった組合員は、日亜化学には約束を反故にされ、県にも裏切られ、折れそうな気持ちになりながらも、全国の多くの仲間の支えで今日までたたかいを継続しています。11・9集会を機に「日亜闘争を支える全国の会」の結成をおこない、支援を強めたいと思います。

つきましては、当面、財政面から支えるために個人及び団体カンパを要請します。

個人カンパ：1口1,000円以上 団体カンパ：1口5,000円以上

郵送・連絡先：徳島県徳島市川内町鶴島115 徳島労連 電話 088-665-6644

振込先：加入者名（徳島県労働組合総連合） 郵便振替口座 01620-8-50746

メールアドレス：rouren@d2.dion.ne.jp

団体又は個人名			
連絡先	(〒 -)		
メールアドレス		電話	
個人カンパ	()口×1,000円＝		円
団体カンパ	()口×5,000円＝		円
激励コメント			